

栃木県での豚熱発生に係る
防疫対策連絡会議
(持ち回り開催)

開催日：令和4年3月28日（月）

出席：知事、副知事、危機管理局、
生活環境部、農林水産部

会議内容

- 1 豚熱の国内発生状況
- 2 栃木県の発生事例の概要
- 3 国の対応状況
- 4 鳥取県の対応状況
 - (1) 栃木県の発生事例に対する鳥取県の対応
 - (2) 今後の豚熱防疫体制
- 5 お願い

豚熱の国内発生状況

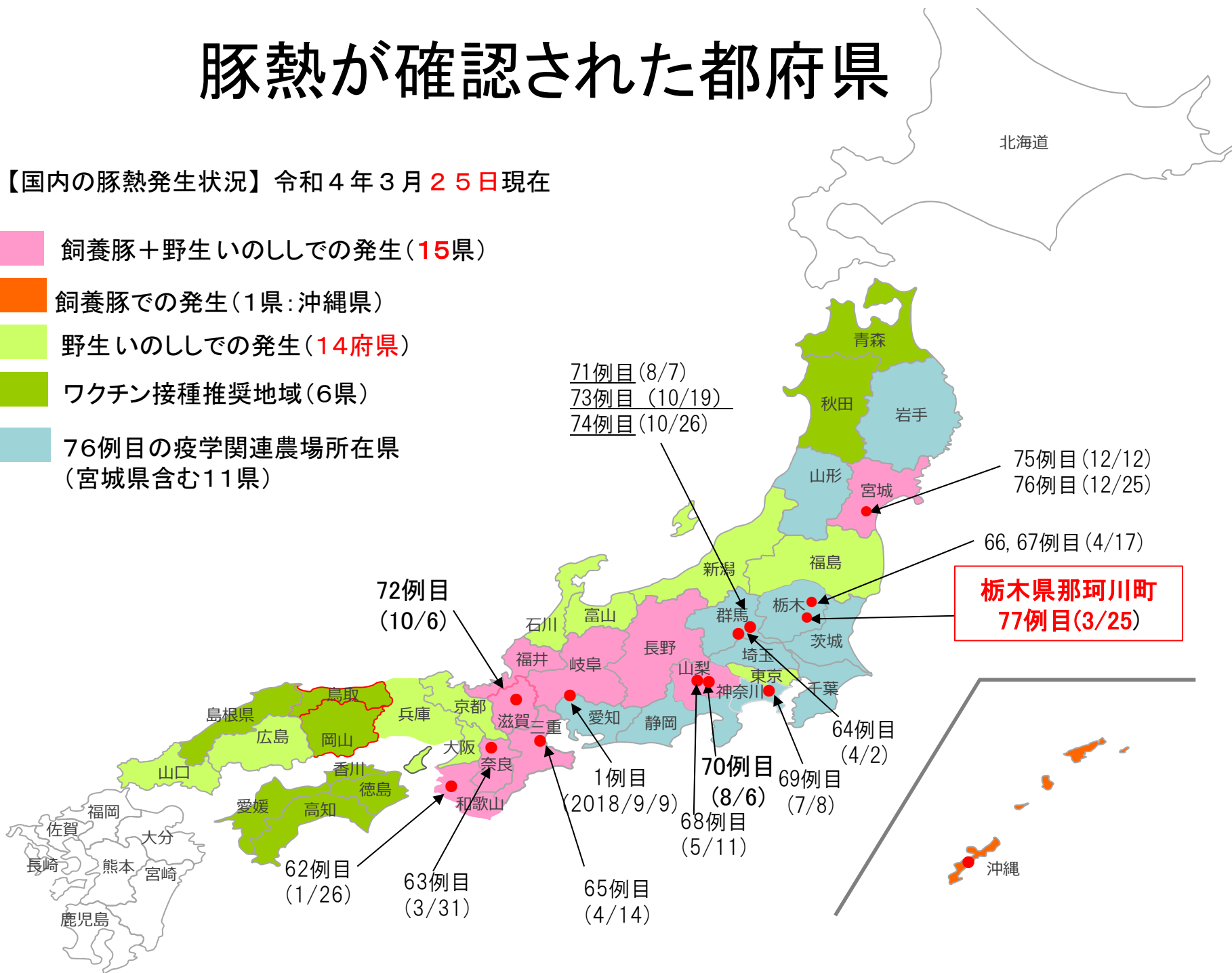
1 平成30年9月9日、岐阜県養豚農場で発生(1例目)し、令和3年1月にかけて岐阜県、愛知県、長野県、三重県、福井県、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県、山形県及び和歌山県で発生。今年3月以降も、**奈良県、三重県、栃木県(2例)、神奈川県、山梨県(2例)、滋賀県、群馬県(4例)、宮城県(2例)のいずれもワクチン接種農場で発生。**
今回の栃木県での発生は昨年4月17日に続き3例目。

2 野生いのししの感染は27都府県で確認。隣県の兵庫県では、令和3年3月16日に丹波市の死亡いのしし2頭で初確認し、**令和4年3月16日まで94頭の陽性を確認。**
また、令和4年3月17日に山口県岩国市、3月22日には広島県大竹市で感染を確認。

豚熱が確認された都府県

【国内の豚熱発生状況】令和4年3月25日現在

- 飼養豚+野生いのししでの発生(15県)
- 飼養豚での発生(1県:沖縄県)
- 野生いのししでの発生(14府県)
- ワクチン接種推奨地域(6県)
- 76例目の疫学関連農場所在県(宮城県含む11県)



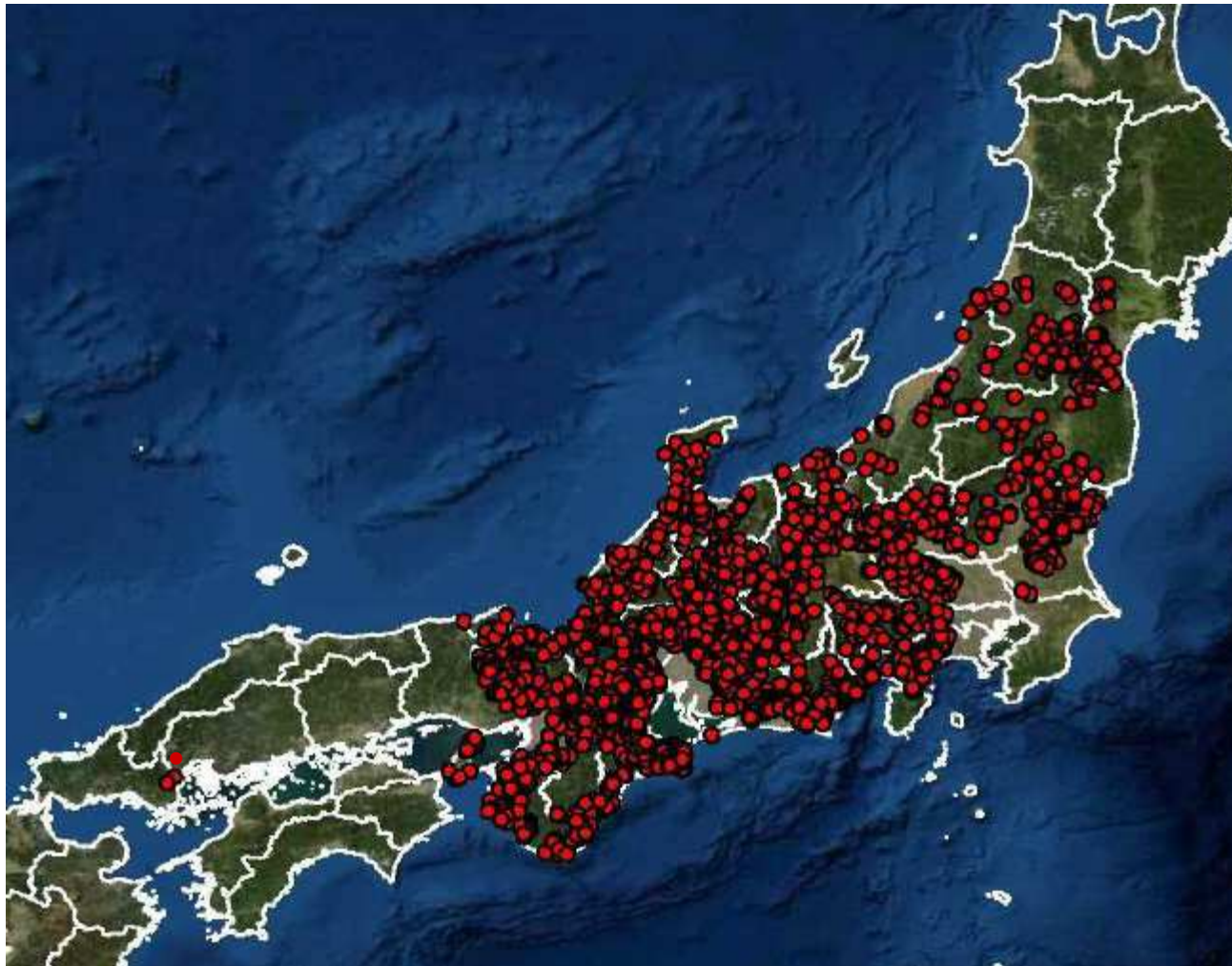
豚熱の国内発生状況(飼養豚)

No.	発生地	畜種	発生日	飼養羽数	防疫措置完了日	その他
1～63	岐阜、愛知、長野、三重、福井、埼玉、山梨、沖縄、群馬、山形、和歌山、奈良	豚、いのしし	H30.9.9～R3.3.31	154,046頭		
64	群馬県前橋市	豚	R3.4.2	9,970頭	R3.4.16	(関連1農場含)
65	三重県津市	豚	R3.4.14	10,842頭	R3.4.23	
66	栃木県那須塩原市	豚	R3.4.17	17,266頭	R3.5.17	
67	栃木県那須塩原市	豚	R3.4.17	22,096頭	R3.5.17	
68	山梨県中央市	豚	R3.5.11	2,642頭	R3.5.14	
69	神奈川県相模原市	豚	R3.7.8	4,328頭	R3.7.21	(関連1農場含)
70	山梨県道志村	豚	R3.8.6	1,693頭	R3.8.11	
71	群馬県桐生市	豚	R3.8.7	6,068頭	R3.8.26	
72	滋賀県近江八幡市	豚	R3.10.6	1,424頭	R3.10.10	
73	群馬県前橋市	豚	R3.10.19	3,940頭	R3.11.1	(関連1農場含)
74	群馬県桐生市	豚	R3.11.26	2,632頭	R3.12.3	
75	宮城県大河原町	豚	R3.12.12	10,386頭	R3.12.18	(関連1農場 2,191頭)
76	宮城県丸森町(まるもりまち)	豚	R3.12.25	7,000頭	R4.1.7	関連農場 11県26農場 (疑似患畜900頭)
77	栃木県那珂川町(なかがわまち)	豚	R4.3.25	1,200頭		

豚熱の国内発生状況(野生いのしし)

野生いのししでの検出状況(令和4年3月22日時点)

- ・陽性例は**27**都府県で確認(**4,619**頭)



栃木県の発生事例の概要

1 農場の概要(国内77例目)

場所: 栃木県那珂川町(なかがわまち)

飼養状況: 1,200 頭

2 経過

- ・3月24日(木): 農場から、死亡豚が発生したとの通報を受け、栃木県が当該農場に立ち入り、病性鑑定を実施。県が実施したPCR検査で陽性
- ・3月25日(金): 国の精密検査で豚熱の患畜と判定。

3 栃木県の対応

- ・3月25日(金)午後9時30分から殺処分開始
- ・豚熱ワクチン接種区域のため、移動制限及び搬出制限無し(10Km以内に24農場)
- ・消毒ポイント2か所設置

国の対応状況

■ 3月25日(金)

- ・農林水産省豚熱・アフリカ豚熱対策本部会議の持ち回り開催
- ・全都道府県へ情報提供
- ・飼養衛生管理基準の遵守、早期発見、早期通報徹底を通知
- ・栃木県へ国の疫学調査チーム派遣を決定

■ 国の野生いのしし対策

- ・捕獲強化対策(ワナ増設等)
- ・農場への侵入防止対策(侵入防止柵設置支援)、全国の都道府県対象
- ・経口ワクチン散布を鳥取県を含む26都府県で実施

栃木県の発生事例に対する鳥取県の対応

- 1 発生情報の周知と注意喚起 (市町村、養豚農場、農協等関係機関) (3/25)
- 2 県内養豚農場の状況確認
 - ・県内20農場に異常なし、栃木県の養豚農場との疫学関連なし
- 3 農場の野生いのしし等野生動物の侵入防止策の徹底
 - ・侵入防止柵の点検、長靴等衣服の交換、車両消毒、早期通報等を再度徹底するよう点検・指導中
 - ・農場周辺消毒のため2月に消石灰を配布(1,100袋)

今後の豚熱防疫体制(飼養豚)

- 1 飼養豚、いのししへの豚熱ワクチン接種等
 - ・4/5(月)~4/23(金)に初回一斉接種済(約5万頭)
 - ・繁殖豚等への補強接種及び生まれてくる子豚、導入豚への追加接種を実施中(5/6~2/28で約10万頭接種)
- 2 ワクチン接種農場の抗体モニタリング(実施中)
初回検査対象15農場407頭検査を行い、401頭(98.5%)でワクチンによる抗体陽性を確認。
- 3 ワクチン接種体制強化
 - ・県職員獣医師だけでなく民間獣医師(知事認定獣医師)による接種開始(8/16~12/28で2名が約8,000頭接種予定)
 - ・R4年4月から獣医師会の協力を得て、民間獣医師による接種を推進
- 4 農場の野生いのしし等野生動物の侵入防止策の徹底
 - ・侵入防止柵の点検、長靴の衣服の交換、車両消毒、早期通報等について再度徹底するよう指導

今後の豚熱防疫体制(野生いのしし)

- 1 県境付近の野生いのししのモニタリングを強化
平成30年9月から令和4年3月22日までに県内全域で死亡、捕獲された野生いのしし597頭(うちR3年度は東部138頭、中部112頭、西部54頭の計304頭)について全て豚熱陰性を確認。
山口県、広島県の野生イノシシ感染確認を受け、県内全域でモニタリングを強化(300頭→400頭)。
- 2 経口ワクチン散布
 - ・R3年度10月～11月に県東部県境に豚熱経口ワクチン散布(散布した9,600個のうち168個でイノシシの摂取痕を確認)
 - ・県西部の広島県、岡山県境での経口ワクチン散布を準備。
- 3 狩猟者や登山者等への衛生対策
 - ・関係機関へポスター配布(3/25)
 - ・狩猟者登録時のチラシ配布や県ホームページ注意喚起実施

豚熱対応窓口

(24時間対応しています。)

■生産者の皆さんの相談窓口

鳥取家畜保健衛生所	0857-53-2240	(夜間休日は転送)
倉吉家畜保健衛生所	0858-26-3341	(")
西部家畜保健衛生所	0859-62-0140	(")

■豚熱に係る死亡いのししに関する通報窓口

畜産課	0857-26-7286	
	090-8061-9109	(休日、夜間)

■豚熱に係る野生いのししに関する相談窓口

緑豊かな自然課	0857-26-7979	(夜間休日 0857-26-7111)
中部総合事務所環境建築局	0858-23-3275	(夜間休日 0858-22-8141)
西部総合事務所環境建築局	0859-31-9320	(夜間休日 0859-34-6211)

■平日夜間、休日、祝日相談窓口

県庁受付	0857-26-8663
------	--------------

お願い

- 豚熱は、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることもありません。
- 今回使用する豚熱ワクチンは、医薬品、医療機器の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づき、農林水産大臣に承認され、有効性及び安全性が確認されており、豚熱ワクチンを接種した豚肉を食べても問題はありません。
- 野生いのししの検査状況から、県内に豚熱が浸潤している可能性は低いと考えられます。異常な死亡した野生いのししを発見した場合は、県畜産振興局畜産課まで連絡し、その指示に従ってください。
- 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に報道関係者の皆様におかれましては、養豚農場へ立ち入るような取材は防疫上ご遠慮ください。